

【 診療科:口腔外科 】
 【 レジメン登録番号:OS-10 】

〈Pembrolizumab＋CDDP＋5FU併用療法〉

	投与量	投与経路	投与スケジュール(day)														
			1	2	3	4	5	6	7	8	15	21			
キイトルーダ	200mg	div	○														
シスプラチン	100mg/m ²	div	○														
フルオロウラシル	1000mg/m ²	civ	○	○	○	○											

【1コース期間: 21 日】 【総コース数: 6コース】

【適応癌種: 頭頸部癌】

【時期: 術前、術後、**手術不能・進行・再発**】

【休薬・減量に関する要件】

項目	基準	減量内容	休薬時の再開基準

投与プロトコール

〈第1日目〉

Rp	薬剤名	投与経路(速度)
Rp.1	アプレピタントカプセル 125mg	p.o.(Rp.6の30分前)
Rp.2	キイトルーダ 200mg	div(30分で)
	生理食塩水 100mL ^{※1}	
Rp.3	生理食塩水 50mL	div(全開で)
Rp.4	フィジオ140 500mL	div(1時間で)
Rp.5	静注用マグネゾール 10mL	div(1時間で)
	フィジオ140 500mL	
Rp.6	デキサート 9.9mg ^{※2}	div(15分で)
	5-HT ₃ R Blocker 1A	
	生理食塩水 50mL	
Rp.7	マンニトールS 300mL	div(30分で)
Rp.8	シスプラチン 100mg/m ²	側管div(2時間で)
	生理食塩水 500mL ^{※3}	
Rp.9	フィジオ140 500mL	div(1時間で)
Rp.10	フルオロウラシル 1000mg/m ²	civ(24時間持続)
	ソルデム3A 500mL	

〈第2～4日目〉

Rp	薬剤名	投与経路(速度)
Rp.1	アプレピタントカプセル 80mg	p.o.(day2～3のみ)
Rp.2	デキサート 6.6mg	側管div(30分で)
	生理食塩水 100mL	
Rp.3	フルオロウラシル 1000mg/m ²	civ(24時間持続)
	ソルデム3A 500mL	

【参考文献: Lancet 2019;394:1915-28

【備考: ①6コース終了後、増悪なければキイトルーダ単剤による維持療法を行う(35コースまで)

【備考: ※1・・・インラインフィルター(0.2～5μm)を用いて投与すること。最終濃度が1～10mg/mLとなるように調製すること。

【備考: ※2・・・アプレピタントカプセル未使用時は、デキサートの投与量を19.8mg/回へ倍量にする。

【備考: ※3・・・生理食塩水の量はシスプラチンと合わせて500mLとなるようにする。